

# 大樹の礎

Taiju no Ishizue

第24号 2019 7.1  
発行者：学校法人 城西 医療 学園  
日本医療科学大学  
Nihon Institute of Medical Science  
〒350-0435  
埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276  
TEL.049-294-9000  
URL https://www.nims.ac.jp

## ご卒業302名・ご入学376名、おめでとうございます！

### 2018 Graduation Ceremony

#### 2018年度 学位記授与式

3月12日、川越プリンスホテルにおいて、2018年度学位記授与式が盛大に行われました。卒業生数は、診療放射線学科80名、理学療法学科専攻74名、作業療法学科専攻37名、看護学科78名、臨床工学科33名の合計302名となりました。

開式の辞、「君が代」斉唱、学位記授与、学生表彰が終わると、新藤博明学長が「卒業生の諸君は医療職への第一歩を踏み出すわけですが、医療従事者として認められても決しておごらず、謙虚さを失わないでください。医療の進歩発展は目覚ましく、患者様との接し方に正解はありませんので、最良を目指して努力し続けてください。そして報恩感謝の心を忘れずに、人生の王道を歩いてください」と述べました。

続いて本学の創立者でもある新藤宣夫理事長は「ご卒業おめでとうございます。国家資格を取得し、明日からは自信と誇りを持って自分の仕事に精進してください」と述べました。

卒業生代表で謝辞を述べた理学療法学科専攻の大島慎也さんは「臨床の現場で学んだことは医療従事者としての基礎であり、私たちは今スタート地点に立ったばかりですが、今後はこの基礎を実践で役立つものにしていきます。これからは本学の卒業生としての誇りと責任感を持って仕事に励むことを皆様の前で約束いたします」と誓いました。卒業生は自ら望んだ医療の道に向け、大きな一歩を踏み出しました。

#### 2018年度卒業生受賞者

- 診療放射線学科  
学長賞  
埼玉県診療放射線技師会 会長賞  
埼玉県診療放射線技師会 奨励賞
  - 理学療法学科  
学長賞  
日本理学療法士協会 学業優秀賞  
全国リハビリテーション学校協会 優秀賞
  - 作業療法学科  
学長賞  
日本作業療法士協会 優秀学生賞  
全国リハビリテーション学校協会 優秀賞  
埼玉県作業療法士会 会長賞
  - 看護学科  
学長賞  
日本私立看護系大学協会 会長賞  
埼玉県看護協会 会長賞
  - 臨床工学科  
学長賞  
日本臨床工学科士会 理事長奨励賞  
日本臨床工学科士会教育施設協議会 代表理事賞  
埼玉県臨床工学科士会 会長賞
- 主将 荒谷 圭斗  
高橋 潤希  
榎 也起  
新井 慎雄  
小林 瑞希  
真央 真央  
中村 隆之介  
湯本 アンディ  
酒本 千冬  
な の 遥  
佐藤 優美  
岩岡 優美  
椋 貴一穂  
戸島 加藤  
森田 里穂



開催日：2019年3月12日(火) 開 式：午前11時  
会 場：川越プリンスホテル(川越市新富町1-22)

### 2019 Entrance Ceremony

#### 2019年度 入学式

4月3日、川越プリンスホテルにおいて、2019年度入学式が華やかに開催されました。診療放射線学科95名、理学療法学科専攻92名、作業療法学科専攻45名、看護学科91名、臨床工学科53名、合計376名が、入学の認証を受けました。

新藤博明学長は「新入生の諸君、国家資格取得のための勉学に励むことはもちろん、友人や先輩と有意義な人間関係を作り、また、サークルやボランティア、国際交流などさまざまな活動を通じて豊かな人間性を磨いてください。将来、諸君が接する患者様は、病氣や怪我と向き合っている方々です。つまり、諸君は医療の現場において、生命や健康という人としての根源となるものに接するわけです。どうか人として大きく、あらゆることを吸収できる人間となってください。4年後、諸君が卒業式を迎えることは本学にとつての喜びです」

続いて新藤宣夫理事長は「新入生の諸君が選んだ進路は決して間違っていない。国家資格を取得し、医療従事者として活躍を目指し、自信と誇りを持ってこれからの大学生活を送ってください」と述べました。

新入生代表として登壇した看護学科の小川菜優さんは「私たち新入生一同は、身の引き締まる思いと希望、期待で心躍る心境です。将来、立派な医療従事者となることを目指し、本学の学生として輝かしい足跡を残していけるよう、研鑽と努力を重ねることをお誓い申し上げます。学長先生をはじめ諸先生方の厳しいご指導をお願い申し上げます。宣誓の言葉といたします」と宣誓しました。保護者の皆様、来賓の方々、教職員に見守られる中、新入生は大学生活の第一歩を踏み出しました。



開催日：2019年4月3日(水) 開 式：午前11時  
会 場：川越プリンスホテル(川越市新富町1-22)

### Interview

## 学長インタビュー 令和の時代を目指す本学の役割 「学生が輝く」ことに力を入れる



新藤博明学長

#### 理学療法士国家試験で 合格率が100%

「昨年度の理学療法士国家試験では合格率100%を達成しました。その要因をお教えください。」

学長 一番の要因は、学生と教職員の日頃の努力の成果だと実感しています。

それに加え、昨年度は行事日程を大幅に見直した点も大きな要因として挙げられます。求人説明会を4月に開催して、早い時期から就職活動や国家試験に対する学生の意欲が高まりました。大樹祭も6月に開催して、試験本番ま

での対策期間が長くなり、学生がよりじっくりと対策に打ち込めるようになりました。

また、父母後援会からも支援を頂き、模擬試験等、充実した対策を行うことができました。今後とも国家試験対策では、学生と保護者の皆様、教職員が三位一体となって取り組んでいきたいと考えています。

#### 学修以外でも 「学生が輝く」ことを見つける

「あらためて大学の姿勢をお教えください。」

学長 医療従事者としての活躍を目指す上では国家資格の取得が必要不可欠です。さらに本学では、豊かな人間性も兼ね備えていなければならぬと考えています。そこで本学では、学修指導において講義や実習のほかに、医療機器メーカーの工場見学や業界団体への訪問など、医療従事者としての

#### 学長 新藤 博明

見識を広げる機会を学生に提供しています。学修以外でも、サークルやボランティアでの活動、地域活動、国際交流など、人としてさまざまな経験を積むことができる取り組みを実施しています。

本学では、こうした多彩な活動を通じて「学生が輝く」ことを見つけてもらいたいと考えています。例えば、ボランティア活動において顕著な貢献を果たしたと評価される学生を表彰する制度を設けており、それが「学生が輝く」ことにつながるはずなんです。それが自分に自信を持つきっかけとなり、就職活動での自己PRや、国家試験合格への励みになると考えています。

本学の4年間では、国家試験の合格に向けて成績を上げて「学生が輝く」ことが最も重要です。

学修に取り組みうち、医療のアカデミックな面に魅力を感じて、卒業後の進路として研究職などを目指す学生のサポートもしています。

本学は、学修とそれ以外のさまざまな面において「学生が輝く」ことに力を入れていきたいと考えています。

令和では日本の医療へのさらなる貢献を目指します

「令和を迎え、今後の抱負をお教えください。」

学長 一般的な大学受験は、志望学科・専攻を絞り、複数の大学を併願すると思います。ここ数年の傾向として入学希望者は本学内での、複数の学科・専攻を受験するケースが増えつつあります。ここから考えられるのは、専門性を問わずに医療業界そのものへの就職希望者が増えたこと。学科・専攻を問わずに、本学への入学を目的とする希望者が増えているということです。

全国各地の病院施設等からの求人数は、年々増加し、本学の学生を受け入れたいという声も多くなっています。そこで将来的には、定員増や、学科・専攻の新設を目指します。そして、より多くの医療従事者を輩出し、日本の医療へ大きく貢献していきたいと考えています。



# 国家試験の傾向と対策について 学科・専攻長からのメッセージ

診療放射線学科 学科長 桑山 潤

平成30年度診療放射線技師国家試験は、前年度同様の難易度だったと言えます。しかし、年度によって出題傾向の変化とともに難易度が大きく変動することもあります。そこで国家試験対策では、例年変わらず出題される範囲の完成度を高め、確実に得点へと結びつけられるようにすることが大切です。国家試験の突破は並大抵の努力ではなかなかありません。学生本人の努力はもとより、教職員も最大限のバックアップに努めます。保護者の皆様のご協力も必要不可欠ですので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション学科  
理学療法学専攻 専攻長 伊藤 芳保

平成30年度理学療法士国家試験は、

知識を日々積み重ねる努力が必要です。学修量が極めて多いため、講義前後の自己学修が大変重要となります。保護者の皆様には、学生に対して「心を離さず」、常にエールを送ってくださいませよう、よろしく願い申し上げます。

臨床工学科 学科長 中尾 教伸

平成30年度臨床工学科技士国家試験は、単純な知識が問われる出題は減り、複数の知識を組み合わせた上で思考力を試される出題が増えました。また、臨床現場での思考過程や比較的新しい知識が問われる出題も見られました。そこで国家試験対策では、まずは実習で慣れている治療機器や生体機能代行装置の分野で自信をつけ、次に出題数の多い医学分野の学修、そして対策に時間のかかる工学分野の学修と、3段階の計画を立てて取り組むとよいでしょう。毎月実施する模試を活用してPDCA(計画・実行・評価・改善)を実践すれば、点数は着実に伸びていきます。教職員一丸で指導に努めますので、保護者の皆様にもご支援とご協力をよろしく願い申し上げます。

地域包括支援・在宅医療・介護などの領域は、他の医療系国家試験と共通した出題が見られました。専門領域では、臨床に直接関連する設問が出題されました。これらを踏まえて、国家試験対策では、他の医療系国家試験で出題された臨床および法律関連の内容を参考にすることによいでしょう。また、疾患名・評価項目名・検査名などで英語表記が増えてきていますので、しっかり内容も含め理解することが必要となってきています。国家試験合格には普段の規則正しい生活と勉学を続ける習慣が重要です。保護者の皆様には、学修指導に対するご理解とご協力をよろしく願い申し上げます。

リハビリテーション学科 学科長 兼  
作業療法学専攻 専攻長 本田 豊

平成30年度作業療法士国家試験は、近年で最も難しかったと考えられます。問題文が長文傾向となり、題意を適切

## 求人説明会を開催!!

### 4月開催による国家試験合格に向けた環境づくり

4月23日、本学に求人をお寄せいただく病院施設と学生が堂に会する2019年度求人説明会を開催しました。サンシャインシティ(東京都豊島区)の展示ホールを会場とし、全国各地から訪れた病院施設の採用担当の方々とは約660名、本学の学生数は4年生と3年生を合わせて約600名。本学の単独開催でありながら大きな規模を誇ります。

病院施設の方が採用にあたって重視するのは「成績や技術よりも」素直さや「主体性」。アドバイスを受け入れられる人、明るく挨拶ができて患者様に寄り添える人、きちんと自分の意見を言える人を求めているようです。一方、参加学生からは「具体的に話を聞かせてもらい、いくつかの施設で見学をさせてもらう約束ができました」(ME4年)、「3年生のうちから参加できたことで、早い時期に多くの情報を得られ、就職活動に対する意識も高まります」(N3年)という声が寄せられました。本学では、学生個々の希望に沿った就職を支援していきます。



4年生は就職活動の実践的な準備に、3年生は就職を意識するきっかけに

病院・施設の採用担当の方々からは、学生の意識が高いと好評価

## 事務局の紹介

本学では「国家資格の取得」と「充実した大学生活」の両立を目指し、教員は元より事務局職員も様々な場面でサポートに努めています。そんな事務局の中でも今回は、教務課の現場レポートをお届けいたします。

### 第3回 履修等は教務課

教務課では、教員と協力して、学生の皆さんが目指す医療従事者になれるよう、日々カリキュラムの管理を行っています。学生の皆さんが教務課に相談に来るのは、履修登録期間だと思います。質問等があるときは、遠慮なく教務課まで相談にきてください。



教務課のスタッフ

## 新任教員の紹介



看護学科 教授 末永弥生



医療・基礎教育科 教授 阿部裕輔



理学療法学専攻 准教授 平野恵健



看護学科 准教授 小山道子



看護学科 講師 清水順子



看護学科 講師 東泉貴子



看護学科 講師 高野直美



看護学科 助教 武居尚子



看護学科 助教 中田久美恵



臨床工学科 助教 梅澤香織



看護学科 助手 都田直樹